

○岩出市長賞（高校生）

「税金とは」

和歌山県立那賀高等学校 二年 坂井 愛音

私は買い物をした時に消費税がついてくることから、税金のことを知りました。最初は「なぜ値段が上がるのか」と思っていました。調べてみると、とても大事なお金だということが分かりました。

税金は、私たちが安心して暮らしていけるように、いろいろなところで使われています。例えば、学校で勉強ができるのも、先生のお給料や校舎の修理に税金が使われているからです。他にも、病院、道路、消防車やパトカー、ゴミの回収、災害の時の支え合いなど、身の回りのたくさんに関係しています。

もし税金がなかったら、私たちは病気になってもすぐに病院に行けなかったり、学校に通うのにたくさんのお金がかかったりするかもしれません。そう思うと、税金は目に見えないけれど、私たちの生活をしっかりと支えてくれていることがわかります。

大人たちは、働いたお金の中から税金をおさめています。自分ががんばって働いた分のお金を手放すのは、かんたんなことではないと思います。でも、「みんなの生活を良くするために使われる」と思えば、大切なことだと思いました。

私も大人になって、働いて税金をおさめるようになります。その時は嫌だとは思わずにみんなの役に立っているという

前向きな考えになるようにしたいです。そして、税金がちゃんと正しいことに使われているかにも目を向けて、少しずつ社会のことを知っていったらいいなと思いました。

私たちが学校で使っている机やいす、教科書、体育館、そういういたものにも税金が使われていると知って、税金は本当に身近なものなんだなと感じました。

これからもっと社会のことを学びながら、「どんなふう to 税金が使われているのか」「もっと良くするにはどうしたらいいのか」など、自分なりに考えていきたいです。そして将来は税金を大切に使ってもらえるように、声を上げられる大人になりたいです。